

加茂地区
保護司会報
(加茂市・田上町)

博善

第75号

- 加茂地区保護司会(加茂市・田上町)
加茂市社会福祉協議会内 電話 0256-52-6667
- 社会を明るくする運動実施委員会
加茂市社会福祉協議会内 電話 0256-52-6667
田上町役場保健福祉課内 電話 0256-57-6112



加茂川桜並木と護摩堂山(高橋務氏撮影)

地域とともに



加茂地区保護司会
副会長 星野 恵美子

加茂市・田上町の皆様には日頃から更生保護活動にご理解をいただき、ご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

加茂地区では、保護観察対象者も少なくなり、安定した状態が続いております。これも皆様の見守りと声掛けのおかげと思っております。

昨年十月初め、関東地方保護司代表者協議会に参加致しました。その中で地域における支援機関や保護関係団体との連携についてグループ協議を行いました。

更生をめざす人が、ケアを受けることができるか不安に思っている時、助けてくれる人がいることを知っていれば、再犯の抑止につながります。地域による違いや、個人情報などをどこまで共有できるのかなど、多くの課題はありますが、保護司・更生保護女性会・民生委員・ハロワーク協力事業主・社会福祉協議会等の関係機関が連携して見守り支援を行うことで、更生するため、自立するための手助けができたこととさせていただきます。

立ち直りを決意した人をあやまちに戻さない、そのためにひとりひとりが偏った見方をせずに、立ち直りを見守り、応援出来たらと思います。微力ではありますが更生保護活動に努めてまいります。

加茂地区保護司会報「博善」は、皆様からいただいた「愛の協力運動」会費により発行されています。

山形刑務所

保護司 佐野 誠

このたび、山形市の山形刑務所を視察する機会を得て、受刑者が置かれている環境や矯正の現場について理解を深めることができました。施設内は厳格な規律のもとで運営されており、秩序が保たれている一方、受刑者一人ひとりの更生を意識した指導や配慮がなされていることが印象に残りました。

刑務所の玄関を入り、会議室で施設の概要説明を受けました。築十年で比較的新しく、最大収容人数千五百名と東北では一番大きい施設であり、主に初犯で刑期が十年前後の受刑者が十一月現在千十名、全国から収容されていました。裁判で懲役十年の判決を受けるとはどのような犯罪なのかと思いましたが、やはり殺人が四分の一、同じように致死傷も四分の一、収容者の半数の受刑者が人の命を奪うような罪を犯した者であることがわかりました。

刑務官の方が二つ目の扉を開け、二つ目の扉を開ける時に、「ここが社会と扉の中の境目です。」と言った言葉が印象的でした。中に



山形刑務所にて

入り、実際に受刑者の顔を見ると皆同じように見えました。この一人ひとりが大きな罪を犯し、大勢の被害者を生み、犯罪被害者に対し精神的身体的な苦しみを与えただけでなく、日常生活や将来への不安を長く与えてしまった事実を変えられません。

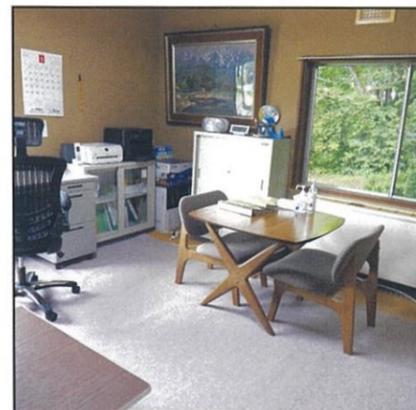
受刑者が刑期を終え社会に出てきたときに保護司として再犯をしないようにどのように接していかばよいか考えるきっかけとなりました。

令和七年度 保護司会の動き

- 4・24 総会・全員協議会
- 6・20 第1回定例研修会
- 9・25 第2回定例研修会
- 11・5 区長会代表者更生保護施設視察研修(新潟市)
- 11・13 第72回新潟県更生保護大会(長岡市)
- 11・20 第3回定例研修会
- 11・27 施設視察研修(山形刑務所)
- 2・2 保護司会・更生保護女性会代表者会
- 2・9 中学校教室(若宮中)全員協議会・祝賀会・送別会
- 3・17

更生保護女性会の動き

- 5・23 総会
- 10・16 第43回新潟県更生保護女性会集い(長岡リリックホール)
- 10 研修旅行(新潟少年鑑別所・川岸)
- 2 新年研修会
- 3 5 役員研修会



加茂地区 更生保護サポートセンター

加茂市大字狭口甲1076-1
老人憩いの家「かも川荘」内
電話 0256-52-4412
〔水・木曜日〕 9:45~15:45

加茂地区保護司会が更生保護活動をする拠点です。どんなことでも御相談下さい。



